

Q&A

災害に備えた安全・安心なまちづくりと
放課後児童クラブについて

宗實 雅典 議員
MASANORI MUNEZANE



問 損保川両岸にある畳堤について
畳堤のコンクリート耐用年数及び強度的問題点の有無を伺う。

答 鉄筋コンクリート造の堤防、防波堤は50年とされている。施工から50年以上が経過し、表面劣化やひび割れ、剥離による鉄筋腐食が発生したため、炭素繊維シートを使用した補修を実施し、延命化を図っている。今後も畳堤を含む堤防点検を実施し、堤防の健全度を把握していく。

問 水量が急激に増えている
さなか、挿入の判断、その後の指示、畳の挿入作業は誰がするのか。

答 判断については市として特に定めたものはないが、畳堤に隣接する自主防災会や消防団においては、堰板の点検や畳の挿入訓練をされている。天候や河川水位の状況を確認しながら、

自主防災会や消防団と協議を行い対応していく。

問 損保川町正條地区にある南北道路と椋木について
椋木の所有者は誰なのか。

答 河川区域内であり、国管理用地であることから、椋木の管理は国にあると考えている。

問 緊急車両等がスムーズに
南北移動できるように、整備する必要があると考えるがどうか。

答 河川の制約等があり、当該区間の拡幅を含めた整備計画は考えていないが、国・県と連携協力し、河川改修や道路整備等のインフラ整備を推進していく。

放課後児童クラブについて

問 授業を行わない日の開所時間を早めることはできないのか。

答 早めた時間帯に勤務できる支援員の確保や、運営費の増加に伴う保護者の負担増等の課題があるため、当分の間利用される家庭の理解と協力を得ながら、現在の開所時間、午前8時で運営していきたいと考えている。

その他の質問事項

● 河川内にある樹木の伐採計画はあるのか

● 椋木の安全性について

Q&A

「過疎指定」地域の特性を生かした
土地利用の推進について

赤木 和雄 議員
KAZUO AKAGI



新宮地域及び、新宮駅周辺地域の特性を生かしたまちづくりと、将来構想について

問 市街化区域、市街化調整区域の線引きを可能な限り見直し、住環境の整備のみならず、企業誘致や農業政策の規制緩和を図り、より自由な地域の発展構想が必要と考えるがどうか。

答 線引きを廃止した場合、空き家や空き地の活用が容易になり、大型商業施設や工場等を建築しやすくなるが、住居の隣接に望まない施設の立地なども懸念される。メリット、デメリットを十分検討し、県や中播都市計画区域の構成市町と、引き続き調査研究していく。

問 地産地消をテーマに、地域の特性を生かした農家レストラン等、話題性を呼び込む事業の推進について本市の構想を伺う。

答 「道の駅みつ」「道の駅しん

ぐつ」において、魚介や肉類、野菜等、地元産の新鮮な食材がレストランや直売所で提供されている。創業支援事業として補助金交付32件の内、12件が損保川トマトや牡蠣、地元野菜等を使用した、ご当地メニューとして提供している。新たに計画はないが、地域の特性を生かした事業の推進を図っていく。

コロナ禍での医療体制について
問 「救急搬送困難事案」の記事を目にするが、本市の状況及び、どのような連絡体制で搬送先を検索しているのか。

答 西はりま消防組合に確認したところ、救急搬送困難事案として、現場滞在1時間以上の件数は、7月が366件中12件、8月が351件中13件と増加していると聞いている。

連絡体制は、中・西播磨5市6町で構成する播磨姫路緊急搬送システムの下、救急事案の症例に応じ、医療機関を選定している。また、選定困難事案については、全県下を網羅する兵庫県災害・救急医療情報システムを使用し、医療機関を選定している。